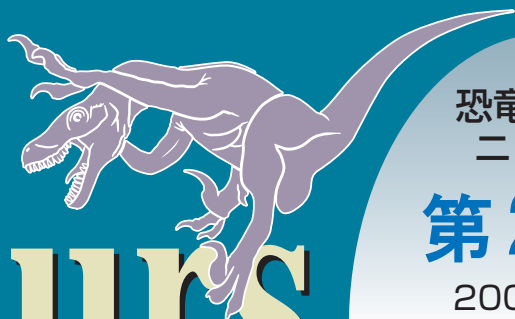


恐竜 Dinosaurs



恐竜博物館
ニュース

第23号

2008.3.20

福井県立恐竜博物館

博物館トピックス「恐竜博物館この一年のあゆみ」

目次 ▼博物館トピックス「恐竜博物館この一年のあゆみ」…2～6 ▼平成20年度特別展紹介…6
▼ダイノメイトだより…7 ▼2008年4月～7月催し物案内／編集後記…8



アーケオケラトプス・オオシマイ

Archaeoceratops oshimai

鳥盤目 周飾頭亜目 角竜下目
白亜紀前期
中国 甘肅省 酒泉地区



博物館トピックス

「恐竜博物館この一年のあゆみ」

第3次福井県恐竜化石発掘調査

「うー、この骨デカイ！」

本格的に発掘調査が始まる前の平成19年7月4日。雨の中、竜脚類の上腕骨（長さ約85cm）が発見されました（写真1）。

福井県では平成元年から継続的に第1次、第2次恐竜化石調査を行い、フクイラプトルやフクイサウルスなど貴重な化石を発見してきました。本年度から始まる第3次恐竜化石発掘調査は、平成12年に恐竜博物館が開館してからは初めて行われる一大プロジェクトです。幸先の良いスタートに、期待が膨らみます（写真2）。

7月14日、第1次、第2次調査の経験者や地質系大学生、大学院生などの調査員、調査補助員を集めての本格調査が開



写真2. 勝山市北谷町の発掘現場（全景）



写真3. 雨の中、化石を探す調査員

始されました。調査期間は8月31日までの49日間。日曜日以外、突き刺さるような真夏の日差しや、肌寒い雨のなかでも発掘作業は続けられました（写真3）。

発掘作業は大きく2つのグループに分かれて行われます。岩石が露出する現場で重機が割った岩石を最初にチェックする「前線」と呼ばれるグループ（写真4）と、前線から送られてくる岩石を小さく割りながら化石を探す「ハンマー隊」と呼ばれるグループ（写真5）です。竜脚類の骨のように大きな化石は、「前線」で確認されます。しかし、歯や小さい骨化石は、「ハンマー隊」の地道な岩割り



写真4. 水で岩石表面を洗いながら化石を探している（前線）



写真1. 発見直後の竜脚類の上腕骨



写真5. 岩石を割りながら化石を探している（ハンマー隊）

作業により発見されています。2つのグループの連携により、効率的に発掘作業を行うことができます。本年度の調査では延べ約600名が参加し（写真6）、約1200点の脊椎動物化石を発見することができました。

発掘現場で発見される化石は多くの場合、割れた岩石の中に断片的にしか見ることができず、種類やどの部分の骨かということまでは分かりません。その骨の正体を明らかにするために、岩石から化石を取り出す必要があります。それが発掘の次に行われる「クリーニング」と呼ばれる作業です。

博物館内で行なわれるクリーニング作業では、化石を傷つけないよう慎重に岩石を削らなければなりません。そのうえ、まわりの岩石は非常に固く、作業は簡単には進みません。この根気のいる作業を終えて、初めて化石の種類を同定することができ、研究へとつながっていくのです。

今回発掘した化石の中には、上腕骨の他にも、竜脚類の^{だいたい}大腿骨や尺骨、肋骨、歯、フクイラプトルとは別の種類だと考えられる獣脚類の指の骨など、新しい発見がたくさんありました。まだ発掘現場にはこの地層の続きが残っています。その中に、まだ見ぬ化石が眠っているかもしれません。今後も新たな発見を期待しながら、発掘調査を進めていきたいと思えます。

（柴田正輝）



写真6. 集合写真

日本－タイ共同恐竜発掘調査

2007年11月2日から12月15日にかけて、タイ王国ナコーン・ラチャシーマ県ナコーン・ラチャシーマ市スラナリ地区において、日本－タイ共同恐竜発掘調査が行われました。この調査事業は、福井県立恐竜博物館とタイ王国珪化木・鉱物資源博物館（ナコーン・ラチャシーマ・ラジャバット大学附属）との共同調査で、2010年度まで継続される予定（発掘は2009年度まで）です。珪化木・鉱物資源博物館からはプラトゥエン・ジータサクル館長、ナリラット・ブンチャイ研究員、ジャルーン・ドゥアンクラヨン研究員、ユパ・ザソッド研究員らが、日本からは、恐竜博物館の東洋一副館長、野田芳和、寺田和雄、柴田正輝らが参加しました。

11月1日に先発班として寺田と柴田が日本を出発し、翌2日から発掘現場での調査準備を開始、まず発掘現場となるト

ウモロコン畑の伐採、重機を使って表土を取り除く作業から始まりました。地表から約20cmの表土を取り除くと、下からは恐竜化石を含んだ中生代の地層が現れます。11月6日に後発班の東と野田が日本を出発、7日に現地入りし先発班と合流しました。発掘現場の地表に現れた地層の表面にはすでにいくつかの恐竜化石が現われていました。11月7日には、日本人で現在中国吉林大学大学院に留学中の関谷透氏が応援に駆けつけて調査



島のように見える現場



発掘メンバー



愉快的タイの研究者

に参加しました。発掘調査は、恐竜博物館と珪木・鉱物資源博物館の研究者などと現地の作業員10数名で進められました。

発掘調査地点であるスラナリ地区周辺には中生代白亜紀前期の陸成層が分布しています。岩石は硬いのですが、浸食には弱いようで、発掘現場の岩石はまるでたくさんの島のように見えます。一方、硬い岩石には重機も歯が立たず、人力による大割り、小割りをすることとなりました。タイの作業員の方々の力強い働きで、岩石はあっという間に粉々になっていきます。

2007年の調査では、1000点以上になる化石を採集しました。化石の保存は良好ですが、流されてしまったようで、

破片が多く含まれています。数多くの恐竜化石のほか、カメ、ワニの歯、淡水サメの歯などの化石も採集しました。また貝化石やわずかながら植物化石も見つかっています。

タイの11月、12月は“冬”の季節ですが、熱帯ですので、日本の6、7月のようです。日中はやや暑い感じがしますが、朝夕はかなり肌寒く感じられます。雨は降らない時期ですが、近年の異常気象のせいなのか、数日は雨に見舞われました。とはいえ発掘が中断するほどではありませんでした。

2008年もほぼ同じ時期にタイでの発掘がおこなわれる予定です。2007年度の成果も近々発表されると思いますが、2008年もそれに劣らず多くの成果が出ることを祈っています。

(野田芳和)



ハンマー隊



発掘の様子を視察



この岩は俺が割る



この岩も俺が割る

平成19年度 恐竜博物館の動き

ローソンにおける館前売りチケットの販売開始

10月より来館者の利便性向上のため、ローソンの店頭端末（Loppi、ロッピー）による博物館チケットの発売を開始しました。

出前PR展の開催

福井県内では「芝政ワールド恐竜展」（7/21～8/30）、「パレア若狭恐竜特別展」（10/6～14）をはじめ14会場でPR展を開催、フクイラプトル骨格標本やパネル展示などを行い、のべ約13万6千人の方にご来場いただきました。

福井県外においては、「恐竜キングダインミュージアム」（7/14～8/31、東京都多摩市、サンリオ主催）、「恐竜大陸」（7/20～9/2、名古屋、中日新聞主催）ほか、千葉、大阪、岡山において、恐竜骨格やさわれる化石などの展示会を開催



都市圏で恐竜折り紙教室開催



岡山高島屋にフクイラプトルを展示

し、のべ約72万2千人の方々にご来場いただきました。

「恐竜ぬり絵」セットサービス展開

今年の2月より7月まで、首都圏のジャパンエナジーグループ「JOMOサービスステーション」キッズコーナーにおいて、「恐竜ぬり絵」入りクリアファイルを提供し、博物館PR活動を展開しています。



恐竜ぬりえセット

NHK連続テレビ小説「ちりとてちん」に登場

昨年10月から始まり好評を博しているNHK連続テレビ小説「ちりとてちん」ですが、恐竜博物館内でも撮影が行われ、2月下旬にその場面の放送がありました。また、年末・年始の特別番組などで、第3次発掘調査やタイ共同発掘調査の話題が取り上げられました。

さらに、2月11日には「おはよう日本」の祝日特集「日本恐竜研究最前線」として、館内から生中継が行われました。



恐竜クイズの実施



恐竜門松登場

年間入館者35万5千人突破

平成19年度2月末までの年間入館者数が、355,922人となり、前年比27.6%増（平成18年度は22.6%増）と、開館初年度を除き過去最高の入館者数となりました。これは、恐竜皮膚痕化石の発見や、夏に実施しました勝山市北谷での第3次発掘調査、また、大変好評いただいた特別展などの相乗効果によって、より多くの方々に博物館へおいで頂けたものと考えています。



勝山左義長バージョンラプトルくん

恐竜溪谷(ダイノソーパーレー) 構想推進に向けて

平成20年度から恐竜博物館周辺とそこまでの街道を「恐竜溪谷(ダイノソーパーレー)」として、福井県と勝山市が連携し、ソフト・ハードの各種事業を展開していきます。恐竜を核として、夢とロマンにつながる事業を計画していますので、今後の動きにご期待ください。

(丸山勝治)



コスモスに映えるドーム

平成20年度特別展紹介

特別展 「絶滅期の恐竜と新時代の生き物たち(仮題)」

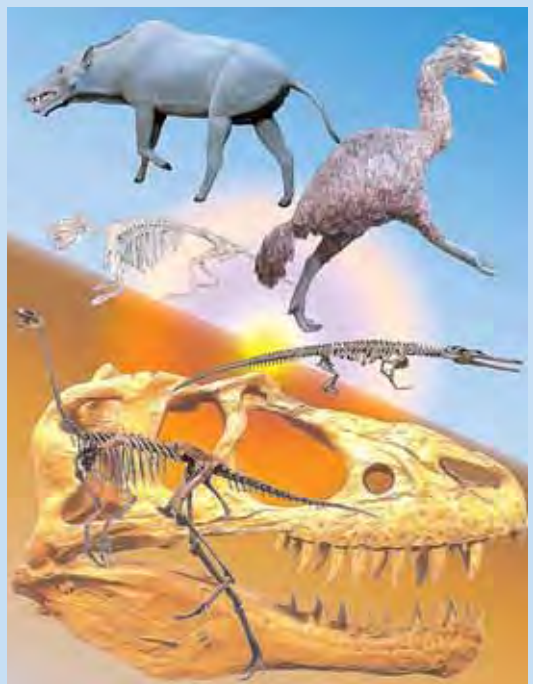
期間：平成20年7月11日(金)～10月13日(月・祝)(9月10日、24日、10月8日は休館)

場所：福井県立恐竜博物館特別展示室

約6500万年前の白亜紀-第三紀境界(K/T境界)に、陸上と海洋の両方で生態系の大きな変化が起きたことが分かっています。恐竜をはじめとする様々な生物に影響を与えた白亜紀末の大絶滅の原因は、巨大な隕石が衝突した影響であるという説に多くの人々が関心をよせていますが、その証拠や境界付近の化石資料を目にする機会はほとんどありません。また、哺乳類はこの絶滅後に大型化し、恐竜に代わって陸上を支配するようになりますが、第三紀はじめ頃の哺乳類の進化についても、国内ではほとんど紹介されていません。平成20年度の特別展では、恐竜時代(中生代)最後の時代である白亜紀後期から、哺乳類が主役となる新時代(新生代第三紀)にかけての大絶滅と生物進化をやさしく解説します。

展示の導入部では、白亜紀後期の海洋と陸上を支配した大型爬虫類(首長竜や恐竜)、日本産の素晴らしいアンモナイトなどの化石標本を紹介しながら、白亜紀後期がどのような環境だったのかについて解説します。次に、ベルギー、イタリア、メキシコ、カナダ、日本(北海道)など、世界各地で発見された白亜紀-第三紀境界層の関連資料や、白亜紀最末期の恐竜や哺乳類化石などを紹介し、恐竜時代終わりごろの様子と白亜紀末の絶滅について解説します。恐竜絶滅後に現れた様々な哺乳類には、現在生きているグループの祖先となるもののほか、風変わりな姿をした絶滅哺乳類があります。アメリカのカーネギー自然史博物館とミシガン大学古生物学博物館の協力のもと、日本初公開となる数多くの第三紀はじめ頃の哺乳類化石を紹介します。「地球の宝物」とでもいべき貴重な資料ばかりですので、是非ご来場ください。

(宮田和周)





ダイノメイトだより



展示解説員に聞く 恐竜博物館おすすめスポット

恐竜博物館のみどころは数あれど、来館者への解説を担当している展示解説員はどこを見てほしいと思っているのでしょうか。ベスト5をお聞きしました。

第1位 手取層群初の恐竜化石

(1F 恐竜の世界 手取層群の恐竜)
「この1本の発見からはじまった、と思うととても感慨深いです。また、これを当時の女子中学生が発見したということにもお客様は感心されます。いまNHKで放映している『ちりとてちん』でも、似たエピソードがあったそうですね。」

第2位 ダイノギャラリー

(1F エントランスホール)
「つまり美術品コーナーで、博物館で異彩を放つ空間。著名作家の絵画をはじめ、映画『ジュラシックパーク』の基本彫刻のホンモノなど、恐竜にまつわる作品がずらり。えっ！こんなものがこんなところに！というかなりのお宝コーナーですよ。」

第3位 古生代の森

(2F 生命の歴史
大森林が育んだ動物たち)
「上を見れば巨大なトンボ、植物の間には昆虫や当時のゴキブリ・クモがい



古生代の森

る。水の中には両生類やその卵もあって、いろんな生き物が発見できて楽しいですね。もっといなか探していると…。えっ！いま動かなかった？といったサプライズも。」



マイアサウラの巣

第4位 マイアサウラの巣

(1F 恐竜の世界
恐竜のからだ・くらし)
「コーナー中央に円状に設置されたこの巣。ちいさなお子様だと恐竜がこわい子も多いのですが、この巣の恐竜の赤ちゃんならかわいいといってくれることがあります。また、運が良くなければ気がつかないくらい微妙に動く卵や赤ちゃんが気に入っています。」

第5位 プラセンチセラスの一種

(2F 生命の歴史 中生代の海)
「宝石のように美しい色をしたアンモナイトです。カナダのアルバータ州だけで採れるそうですね。化石というと、黒や茶色、灰色など地味な色ばかりですが、そんな中でこのプラセンチセラスはひととき目立っています。」

他にも色々とありましたが、お子様に人気という「ふん化石」(1F 地球の科学) や、ジオラマの中の呼吸するオメイサウルス(1F 恐竜の世界)も興味深いところですよ。皆様も次回お越しになる時は、ぜひご覧になって下さい。

後援会企画

海外恐竜 体験の旅募集

今年の海外恐竜体験の旅は微笑みの国タイで、福井県立恐竜博物館とタイ珪化木・鉱物資源博物館とのあいの共同調査に参加させていただきます。実際の発掘現場で、あなたの手で恐竜化石を発見してみませんか？タイ珪化木・鉱物資源博物館の見学も予定しています。

実施時期

平成20年11月20日(木)～24日(月)

旅行代金

139,000円(大人・子供同額 1名様)

日程

20日 関空→バンコク→コラート泊

21日 終日：発掘体験

22日 終日：発掘体験、タイ珪化木・鉱物資源博物館見学

23日 バンコクで市内観光(サイアムニラミッド等)→機内泊

24日 関空到着、解散

問い合わせ、申し込み

JTB中部福井支店 水野・山根まで

TEL 0776-27-7712

FAX 0776-26-7965

<http://www.jtb.co.jp/shop/fukui/>

ダイノメイト会員を 募集しています

ダイノメイトは恐竜や化石の大好きな人たちの集まりです。あなたもダイノメイトになりませんか？ショップでの割引などの特典もありますよ。

一般会員 年額2,000円

子供会員 年額 500円

家族会員 年額3,000円

(同一世帯で5人まで)

有効期間は、7月1日から翌年6月30日まで(毎年更新)

郵便振替用紙に、住所、氏名、生年月日、会員の種類を明記されて下記口座に振り込んでください(手数料はご負担願います)。

郵便振替口座 00770-9-47730

加入者名 福井恐竜博物館後援会
ダイノメイト

行事案内

2008年4月～7月

特別展関連行事

特別展講演会

■「哺乳類の起源」

日時/7月13日(日) 14:00～15:30
 内容/恐竜時代の哺乳類は影に暮らす単なる小さな生き物なのか?世界の第一線で活躍する研究者が、中国のジュラ紀から発見された新しい哺乳類化石を紹介し、哺乳類の起源と初期の進化についてやさしく解説します。

講師/アメリカ・カーネギー自然史博物館
 羅 哲西 副館長

場所/講堂

※申し込み不要です。

特別展ツアー

■「特別展の展示解説」

日時/7月19日(土) 13:00～14:30
 内容/特別展の素晴らしい標本について、詳しく解説します。

講師/宮田 和周 場所/特別展示室

対象/20名

申込/電話、FAX、E-mailにて

博物館セミナー

恐竜博物館の研究最前線!

場所/研修室

申込/電話、FAX、E-mailにて

■「南米の植物から見た植生と環境の変化

—南米チリ調査報告—

日時/4月20日(日) 13:00～14:30
 内容/南米チリの植物相は、南極大陸との交流やアンデス山脈の発達などと密接に関係しています。現地の調査の様子も交えながら、これまでに分かってきたことを紹介します。

講師/矢部 淳

■「中国浙江省での共同研究」

日時/5月18日(日) 13:00～14:30
 内容/恐竜博物館と姉妹提携を結んでいる中国・浙江自然博物館との共同研究を紹介します。恐竜だけでなく、新石器時代の遺跡の遺物についても触れていきます。

講師/野田 芳和

■「福井の恐竜を発掘する

—第三次恐竜化石調査報告—

日時/6月15日(日) 13:00～14:30
 内容/昨年始まった第三次恐竜化石発掘調査。数々の恐竜化石の発見がありました。何がどのように発見されているのか?発掘の状況とその成果についてお話します。

講師/柴田 正輝

ギャラリートーク

当館研究スタッフが、展示標本を前に30分程度のお話をします。開催日時、集合場所等、当館ホームページのイベント案内をチェックしてください。

※所定の方法にて、行事名、氏名、年齢、住所、電話番号を、博物館までご連絡ください。開催日の一ヶ月前から受付を開始し、定員に達し次第締め切らせていただきます。ただし、申し込み多数の場合は抽選となる場合があります。
 ※当館 Web サイトの行事案内ページ (<http://www.dinosaur.pref.fukui.jp/event/>) もご覧ください。

■「日本最古の大型哺乳類化石

—恐竜絶滅後の世界—

日時/7月20日(日) 13:00～14:30
 内容/九州から続々と見つかった日本最古の大型哺乳類化石は、とても奇妙な生き物の化石です。学会でしか発表されていない最新の情報を分りやすく紹介します。

講師/宮田 和周 場所/研修室

博物館自然教室

場所/実習室

申込/往復ハガキ、E-mailにて

■「石をしらべよう!」

日時/4月27日(日) 13:00～15:00
 内容/偏光板や顕微鏡などを使って、石のつくりや特徴をしらべます。

担当/佐野 晋一

対象/小学生以上 20名

■「化石のペーパーウェイトをつくろう!」

日時/5月25日(日) 10:00～15:00
 内容/化石の入った岩石を磨いて、オリジナルのペーパーウェイトを作ります。

担当/後藤 道治

対象/小学生以上 20名

■「恐竜時代の木をしらべよう!」

日時/6月22日(日) 13:00～15:00
 内容/恐竜時代の木材化石のプレパラートを作って内部を観察します。

担当/寺田 和雄

対象/小学生以上 20名

■「恐竜化石発掘現場見学」

日時/7月26日(土) 13:00～15:00
 内容/恐竜化石発掘現場へ行き、地層の観察や発掘体験を行います。

担当/恐竜博物館研究職員

場所/恐竜化石発掘現場

対象/小学4年生から一般 40名

受付は6/26～7/3まで。抽選にて参加者を決定します。

野外観察会

申込/往復ハガキ、E-mailにて

■「大野市(旧和泉村)の手取層群」

日時/6月1日(日) 9:00～16:00
 内容/大野市(旧和泉村)に分布する手取層群を観察し、貝化石などを採集します。

担当/野田 芳和、柴田 正輝、千秋 利弘

場所/福井県大野市

対象/20名

恐竜ふれあい教室

場所/実習室 申込/往復ハガキ、E-mailにて

■「親子で化石のレプリカをつくろう!」

日時/4月5日(土) 13:00～15:00
 内容/石こうを使って、アンモナイトなどの化石の複製を作ります。

担当/小島 啓市

対象/4歳から小3の親子 15組

■「親子で恐竜キーホルダーをつくろう!」

日時/4月13日(日) 13:00～15:00
 内容/パソコンで恐竜の絵を描いて、キーホルダーを親子で作ります。

担当/千秋 利弘

対象/4歳から小3の親子 15組

■「親子で恐竜折り紙のジオラマをつくろう!」

日時/5月11日(日) 13:00～15:00
 内容/折り紙でティラノサウルスなどの恐竜を作り、ジオラマを作ります。

担当/砂子 英恵

対象/4歳から小3の親子 15組

■「親子でつくる新しい恐竜折り紙『ONE'S』」

日時/6月8日(日) 13:00～15:00
 内容/一枚の紙からフクイサウルスやティラノサウルスなどを作ります。

担当/砂子 英恵

対象/4歳から小3の親子 15組

■「親子で恐竜の絵をかこう!」

日時/7月12日(土) 13:00～15:00
 内容/いろいろな恐竜の特徴をつかんで、恐竜のイラストに挑戦します。

講師/恐竜漫画家 ヒサクニヒコ 先生

対象/4歳から小3の親子 15組

■「親子で化石のレプリカをつくろう!」

日時/7月27日(日) 13:00～15:00
 内容/石こうを使って、アンモナイトなどの化石の複製を作ります。

担当/小島 啓市

対象/4歳から小3の親子 15組



編集後記

今年のはうう年です。1日得をしたのか損をしたのか、人それぞれ年齢や立場によって受け取り方が違うことでしょう。今年、日本では地球環境サミットが開かれます。恐竜博物館には恐竜をはじめ地球の過去に生きていた古生物が私たちに色々な情報を提供してくれています。得をした1日分くらい、過去を振り返りつつ地球環境についてゆっくり考えて見ようではありませんか。(伊藤一康)